

令和元年度 社会福祉法人たいよう福祉会 事業報告

はじめに

事業運営にあたっては、基本理念をもとに、障害者総合支援法等関係する法律を遵守するとともに、職員間や関係機関等との連携を図り、利用者一人ひとりのニーズを的確に把握して利用者の支援の充実に努めた。

法人本部

今年度は特に財務規律の強化について、平成30年度決算において法人設立以来はじめて赤字決算となったことを受けて、今後の財政状況は厳しい状況になることが予想される中、安定した法人運営を展開していくために財源の確保（利用稼働の増加）、支出（事業費等）の経費削減を課題とし取り組んできた。このためには明確な根拠のある新規事業の整備が必要であり、社会福祉充実計画により保有する積立資金を社会福祉事業に再投下する取り組みを検討してきた。しかし、新事業所の整備のために積立資金を一気に支出する計画においては、保有財産が減少した上に、仮に新規事業が軌道に乗らなかったことで、法人運営は急激に悪化することも容易に想定できる。

今後は、新型コロナウイルス感染症問題の長期化による社会的影響も踏まえ、充実計画では短期的な課題となっている新規事業の開始については、計画の根本的見直しを含めあらためて検証することとしたい。

（詳細は法人本部事業 事業報告による。）

障害福祉サービス事業（就労移行支援・就労継続支援B型・日中一時支援）

たいようSOCIOセンター

たいようSOCIOセンターについては、令和元年度事業計画に基づき、良質な福祉サービスと健全な事業所運営に努めた。利用契約者の状況として、就労移行支援事業は定員6名に対して5名、就労継続支援B型事業は定員34名に対して42名、日中一時支援事業は定員10名に対して27名と利用契約を結ぶ。各事業の利用状況は、就労移行支援事業が1日平均2.0名（定員に対して約33%の稼働率）、就労継続支援B型事業が1日平均38.4名（定員に対して約113%の稼働率）、日中一時支援事業は1日平均7.1名（定員に対して71%の稼働率）、事業所全体では1日平均47.6名（多機能50名の定員に対して95.2%の稼働率）の利用があった。平成30年度はその前年と比べて利用減となったが、令和元年度については日中一時支援事業の改善により稼働率が上がったことが実を結び、全体的な稼働率を例年並みに戻すことができた。

しかし、就労移行支援事業の利用率低下の課題が明確になり、同圏内の就労移行支援事業を行う他施設と共同で、柏崎刈羽地域障害者自立支援協議会に地域課題として問題提起することも検討していく。

就労移行支援事業においては、これまでと同様、柏崎刈羽地域障害者自立支援協議会

就労部会、各プロジェクトチームの取り組みやハローワーク柏崎、障害者就業・生活支援センターこしじ等の関係機関と連携し、障害者就職面接会やジョブガイダンスへの参加、企業見学等を通じて、就労への関心を高め、施設外就労や職場実習等で就労経験を積み、1名のトライアル雇用を実現することができた。就職後の支援においても、平成30年10月1日より就労定着支援事業が利用開始したことにより、より長期間に渡りより手厚く就職者の支援を行うことが可能となった。

また毎年ごとに就職者が出ており、これまで当事業所から就職した方は25名を超えている。その内の大半が福祉サービスの利用が終了した方になるが、最低半年に1度は職場訪問や面談を行うなどバックアップ施設としての役割を果たしてきた。職場定着支援、余暇活動支援の一環として取り組んできた当事業所から就職した方を対象にしたOB会については実施しなかった。しかし平成30年度には障がい者就業・生活支援センターと主催の職場定着のつどいに当事業所OB会も共催という形で開催し、令和元年度も当事業所職員が定着のつどいに参加を継続してきた。今後の事業所独自の開催は就職者のニーズを十分に把握し、検討していく。

特別支援学校高等部の卒業予定者へのアセスメント実習として3名を受け入れ、卒後の進路を決める際のアセスメントとして助言、評価を実施した。特別支援学校以外の見学者、体験希望者の受け入れも積極的に行い、これまで障害福祉サービスを利用したことがない方のアセスメント材料が必要な際に就労支援の場を提供し、関係機関に協力することができた。

就労継続支援B型事業については、法に定める定員緩和の措置（125%枠）を最大限に活用し利用の促進に努めた。また、日中一時支援事業においては、昨年からの検討と準備を重ね、特化した作業室を用意することで比較的支援区分が高く他の受け入れ先が困難とされる方や、就労支援事業への体験的利用をしたい方、ゆっくりと集団生活に慣れたいというニーズに対応したことで利用率をアップすることができた。これについては、就労継続支援事業B型事業にもメリットがあり、作業中の個別支援が必要な方にもこの特化した作業室にて作業をしてもらうことで、個別支援に対応する支援者と作業受注に対応する支援者とがそれぞれに業務に集中することができた。その効果が、作業量アップ、工賃アップにつながった。また新たに始めたレーザー刻印機を使った自主製品事業では、工賃アップ以外にも地域とのつながり作りにも期待が見込まれる。

平均年齢が年々上がっている利用者の健康管理については、新たに新潟県労働衛生医学協会様へ健康診断を委託し、検査項目などを増やした他、柏崎市歯科医師会の協力による歯科検診の実施、元気館元気支援課の歯科衛生士との連携を強化し、歯科通院への調整や歯科相談などにつなぎ利用者の健康管理に努めた。

給食については、平成30年度に行った利用者の嗜好調査や給食提供継続の可否・料金設定等のアンケートをもとに検討し、利用者の健康維持やニーズが高いことから、食事提供加算が継続する限り給食を継続することに決定した。

余暇活動については、年間3つの主要行事（お花見、一泊旅行、忘年会）の企画を継続し、クラブ活動については新たに創作活動にも地域の外部講師をお呼びし内容の充実

を図った。利用者には作業とは違った楽しさを提供することで、日々の作業への活力へと代える事ができた。

(詳細は指定障害福祉サービス事業 たいようSOCIOセンター事業報告による。)

障害福祉サービス事業（就労定着支援）

たいようSOCIOセンター

就労定着支援事業においては、平成30年10月1日より新規事業として開始した。対象は所定の障害福祉サービスの利用を経て、通常の事業所(一般企業等)に就職し、勤続半年経過時から利用可能となる。対象利用者に対しては月に1回以上の対面支援として面談を行い、また月に1回以上の企業訪問を行い、業務の様子の確認、企業担当者への聞き取り等を行った。その他企業担当者やハローワーク柏崎、障がい者就業・生活支援センターこしじ等の関係機関との連絡調整も行った。これまでもたいよう福祉会では、独自で定着支援をしていたが、事業化されより長期間、手厚い支援が可能となった。昨年度の利用者総数は8名で、内当法人の就労支援事業を利用した方6名、法人外の就労支援事業を利用した方2名の利用登録があった。

(詳細は指定障害福祉サービス事業 たいようSOCIOセンター事業報告による。)

障害福祉サービス事業（共同生活援助 介護サービス包括型）

たいようホーム・あっとホーム

令和元年度事業計画に基づき健全な事業所運営に努めた。

保護者の高齢化により身元引受人が親から兄弟姉妹又は親族に引き継がれるケースが増えていることから、成年後見制度の理解と利用について検討していきたい。利用者の健康管理や日常生活の支援にあたっては、利用者本人の意向を丁寧に聞き取り、視覚支援や具体的提示により、一定の成果を得ている。

今後も、相談支援事業所や居宅サービス事業所、医療機関等の関係機関、就労先企業と連携し、利用者個々の意向や個別支援計画に沿った支援に取り組んでいきたい。

バックアップ施設と世話人との連絡会議を毎月開催し、バックアップ施設職員の定期的な訪問を通して、利用者と直接関りが多い世話人の意見も取り入れながら利用者支援に努めた。防災対策については、災害時の対応に備え、避難訓練を実施し、防災意識の啓発に努めた。

(詳細は指定共同生活援助事業 たいようホーム事業報告による。)

相談支援事業

障がい児（者）生活支援センターふくし・ぱーとなー

前年度同様、障害者相談支援事業（柏崎市、刈羽村委託事業）、一般相談支援事業、特定相談支援事業、障害児相談支援事業の4事業を継続実施してきた。(相談件数、支援内容については別紙事業報告書のとおり)

基本相談では、来所または訪問により相談を受け、困りごとの聞き取りや家庭状況や

障がい特性等を把握するためのアセスメントを行い、関係作りを重視し、いつでも相談しやすい環境を提供。サービス利用が必要になった際、利用等の調整を行った。

一般相談支援事業では、地域移行支援の実績はなかったが、地域定着支援で13名の利用者に対応し、24時間の連絡体制と定期的訪問（月2回程度）により、安心して地域で暮らせるよう支援を行った。

特定相談支援事業、障害児相談支援事業では、利用サービスの調整、サービス等利用計画・障害児支援利用計画の作成。利用後は定期的にモニタリングを行いサービスが適正に提供されているか確認を行ってきた。モニタリングの際は関係機関、関係者が集まったの会議形式を多く取り入れ、支援者間のつながりを強めるよう心掛けた。

柏崎刈羽地域障害者自立支援協議会においては、委託相談支援事業所として、事務局とともに協議会の中心的な役割を担っている。

（詳細は指定相談支援事業 障がい児（者）生活支援センターふくし・ぱーとなー 事業報告による。）

公益事業 柏崎市資源物リサイクルセンター管理に関する業務

柏崎市の委託事業を通じて、障害者の雇用と就労支援の場を提供することができた。柏崎市市民生活部環境課（担当課）とは定期的に連絡会議を開催し、連携して業務に取り組んでいき、障害者雇用については、就労定着支援事業所と連携し職場定着の支援に努めていきたい。

（詳細は柏崎市資源物リサイクルセンター管理に関する業務 事業報告による。）

法人本部事業 事業報告

1. 法人が行う事業

(1) 第2種社会福祉事業

ア 障害福祉サービス事業

事業種別	事業所名	住 所	備 考
就労移行支援事業 就労継続支援 B 型事業	たいよう SOCIO センター	柏崎市豊町 3-5	定員 40 名
就労定着支援事業	たいよう SOCIO センター	柏崎市豊町 3-5	
共同生活援助事業	たいようホーム	柏崎市四谷 2-4-3	定員 6 名
	あっとホーム	柏崎市小倉町 10-14	定員 5 名

イ 一般相談支援事業の経営

事業所名	住 所
障がい児(者)生活支援センターふくし・ぱーとなー	柏崎市豊町 3 番 60 号

ウ 特定相談支援事業の経営

事業所名	住 所
障がい児(者)生活支援センターふくし・ぱーとなー	柏崎市豊町 3 番 60 号

エ 障害児相談支援事業の経営

事業所名	住 所
障がい児(者)生活支援センターふくし・ぱーとなー	柏崎市豊町 3 番 60 号

(2) 公益事業

柏崎市資源物リサイクルセンター管理に関する業務

2. 沿革

令和元年 6月21日 法人資産変更登記(平成30年度分)

3. 本部事業関係

(1) 監事会

開催日	会議名及び出席者	議案等
5月22日	第1回監事会 監事2名	平成30年度事業報告、社会福祉事業及び公益事業決算についての監査

(2) 理事会

開催日	会議名及び出席者	議案等
5月30日	第1回通常理事会 理事6名 監事2名	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度 事業報告について ・平成30年度 決算について ・監査報告 ・令和元年度 資金収支補正予算書(案)について ・たいよう SOCIO センター(就労定着)運営規程の一部改正について ・たいよう SOCIO センター修繕工事に伴う入札参加業者の選定について ・令和元年度定時評議員会の開催について ・障がい児(者)生活支援センターふくし・ぱーとなーの移転について ・一般相談支援事業運営規程の一部改正について

		<ul style="list-style-type: none"> ・特定相談支援事業・障害児相談支援事業運営規程の一部改正について ・次期理事候補者の選定について ・次期監事候補者の選定について ・報告事項 職員採用について 平成30年度決算に基づく社会福祉充実残額の算定について 理事長職務執行状況報告について ・その他
6月13日	第1回臨時理事会 理事7名 監事1名	<ul style="list-style-type: none"> ・理事長の選定について ・報告事項 業務の執行状況について
7月9日	書面決議による理事会 理事7名 監事2名	<ul style="list-style-type: none"> ・たいよう SOCIO センター修繕工事請負契約の締結について
10月29日	第2回通常理事会 理事6名 監事1名	<ul style="list-style-type: none"> ・施設整備の基本方針(案)について ・報告事項 業務の執行状況について
1月28日	第3回臨時理事会 理事7名 監事2名	<ul style="list-style-type: none"> ・職員就業規則の一部改正について ・職員給与規則の一部改正について ・臨時職員等の取扱規程の一部改正について ・報告事項
3月19日	第2回通常理事会 理事7名 監事2名	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度資金収支補正予算書(案)について ・たいよう SOCIO センター運営規程の一部改正について ・一般相談支援事業運営規程の一部改正について ・特定相談支援・障害児相談支援事業運営規程の一部改正について ・令和2年度事業計画(案)について ・令和2年度資金収支予算書(案)について ・令和元年度第1回臨時評議員会の開催について ・センター長の任命について ・報告事項 業務執行状況について

(3) 評議員会

開催日	会議名及び出席者	議案等
6月13日	定時評議員会 評議員9名 監事2名	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度 事業報告について ・平成30年度 決算について ・監査報告 ・令和元年度 資金収支補正予算書(案)について ・障がい児(者)生活支援センターふくし・ぱーとなーの移転について ・たいよう SOCIO センター修繕工事に伴う入札参加業者の選定について ・理事の選任について ・理事の選任について ・報告事項 職員採用について

		平成30年度決算に基づく社会福祉充実残額の算定について
3月26日	第1回臨時評議員会 評議員8名 監事1名	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度 資金収支補正予算書(案)について ・令和2年度 事業計画(案)について ・積立金の取崩について ・令和2年度 資金収支予算書(案)について

(4) 役員懇談会

令和元年度開催無し

(5) 評議員選任・解任委員会

令和元年度開催無し

(6) 施設整備準備室関係

5月30日	ハートフルケア柏崎視察
5月31日	さざなみ学園視察
6月12日	理事長・事務局打合せ
7月1日	準備室次長 浅野泰彦氏 採用
25日	設計打合せ(原子力補助金関係打合せ)
8月7日	事業検討委員会
22日	事業検討委員会事業検討部会視察(上越市 2事業所)
23日	事業検討委員会事業検討部会
27日	事業検討委員会給食検討部会
29日	事業検討委員会事業検討部会
9月9日	事業検討委員会事務局会議
19日	事業検討委員会給食検討部会
20日	事業検討委員会事業検討部会視察(長岡市 2事業所)
30日	事業検討委員会事業検討部会
10月16日	事業検討委員会給食検討部会視察(魚沼)
24日	臨時職員会議
31日	事業検討委員会給食検討部会視察(メイプル亀田、天寿園カフェ)
11月12日	柏崎市との打ち合わせ
13日	事業検討委員会給食検討部会視察(金沢市)
19日	事業検討部会

4. 職員(令和2年3月31日現在)

(1) 障害福祉サービス事業所たひよう SOCIO センター(就労移行・就労継続B型の多機能)

職名	正規職員	非常勤	備考(正規職員の兼務状況)
センター長	1		就労定着支援・共同生活援助管理者兼務
サービス管理責任者	2		内相談支援事業管理者兼務1名
事務員	2		総括主任1名、主任1名
生活支援員	7	5	共同生活援助事業サビ管兼務 1名
職業指導員			共同生活援助事業生活支援員兼務 2名
			就労支援員兼務 1名
			就労定着支援員兼務 1名
			栄養士兼務 1名

目標工賃達成指導員	1		
栄養士	1		
調理員		3	
嘱託医		1	
合計	14	7	非常勤兼務2名

(2) 障害福祉サービス事業所たひよう SOCIO センター (就労定着支援)

職名	正規職員	非常勤	備考 (正規職員の兼務状況)
センター長	1		
サービス管理責任者	1		多機能と兼務、主任1名
事務員	1		多機能と兼務、主任1名
就労定着支援員	1		多機能の就労支援員と兼務
合計	4	0	

(3) 障がい児(者)生活支援センターふくし・ぱーとなー

職名	正規職員	非常勤	備考 (正規職員の兼務状況)
管理者兼相談支援専門員	1		
相談支援専門員兼地域移行・地域定着支援員	3		主任1名 たひよう SOCIO センター支援員兼務
事務員	1		たひよう SOCIO センター総括主任兼務
合計	5	0	

(4) 共同生活援助事業 (たひようホーム・あつとホーム)

職名	正規職員	非常勤	備考 (正規職員の兼務状況)
管理者	1		たひよう SOCIO センター センター長兼務
サービス管理責任者兼生活支援員	1		たひよう SOCIO センター支援員兼務
生活支援員	1		たひよう SOCIO センター支援員兼務
事務員	1		たひよう SOCIO センター総括主任兼務
世話人		7	
合計	4	7	非常勤兼務1名

(5) 柏崎市リサイクルセンター管理業務委託事業

職名	正規職員	非常勤	備考 (正規職員の兼務状況)
管理者	1		たひよう SOCIO センター センター長兼務
事務員	1	1	たひよう SOCIO センター総括主任兼務
就労支援員	1		たひよう SOCIO センター就労支援員兼務
登録者		1	障害者雇用
支援スタッフ		11	
合計	3	12	非常勤兼務1名

(6) 法人全体の職員数 (実人員)

正規職員 16名
臨時職員等 25名

5. 職員研修

- (1) 内部研修 実施なし
(2) 外部研修

月 日	研修内容	参加職員
令和元年 6月28日	新潟県知的障害者福祉協会世話人研修会	サービス管理責任者 生活支援員 世話人 2名
7月30日	中越圏域精神障害者自立支援連絡調整会議 地域移行支援部会支援者研修会	相談支援専門員
8月8日 10月24日～25日	新潟県相談支援事業従事者現任研修会	相談支援専門員
8月29日～30日	全国グループホーム研修会	生活支援員
9月25日	安全運転管理者講習会	管理者
10月17日	コーチング研修	生活支援員
12月2日	障がい者の地域での暮らしを考える	生活支援員
12月11日	自閉症スペクトラムの理解の対応	相談支援専門員
12月14日～15日	就労支援フォーラム NIPPON2019	就労支援員 2名

6. 地域における公益的取り組み

- (1) 事業名 にいがたセーフティネット事業（生活困窮者に対する生活・就労支援事業）
- (2) 事業実施主体 新潟県社会福祉法人経営者協議会
- (3) 事業内容 就職活動応援金付職場体験事業
①職場体験の場の提供
②職場体験の回数に応じた就職活動応援金の提供
- (4) 事業実績 拠出金の納入 年間 20,000 円
職場体験の場の提供 0 件（提供場所 たいよう SOCIO センター）

7. 外部委託による巡回監査及び労務管理・指導の実施

- (1) 委託先 税理士法人さくら総合会計 新潟市西区小新南2丁目9番20号
- (2) 委託内容 巡回監査による指導業務及び経営相談等
- (3) 巡回回数 定期訪問 年6回 その他、労務管理等に関する指導は委託費の範囲以内で随時

障害福祉サービス事業
(就労移行支援・就労継続支援B型・日中一時支援)
たいようSOCIOセンター 事業報告

1. 事業の目的

(1) 就労移行支援事業 (定員6名)

利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、利用者に対して、生産活動その他の活動の機会を通じて、就労に必要な知識及び能力の向上を図るとともに、職場実習、職場開拓等を通じて本人にあった職場への就労・定着を図るなどの支援を行う。

(2) 就労継続支援B型事業 (定員34名)

利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、利用者に対して、就労及び生産活動その他の機会を通じて、知識及び能力の向上のために必要な訓練・支援を行う。

(3) 日中一時支援事業 (定員10名 柏崎市・刈羽村地域生活支援事業)

障害者等を一時的に預かることにより、日中活動の場を提供し、見守り及び社会に適應するための日常的な訓練等を行うとともに、家族の就労支援及び日常的に介護している家族の一時的な休息を目的として実施する。

2. 利用状況 (平成31年4月1日～令和2年3月31日)

(1) 利用契約者数 (単位:人)

	就労移行	就労継続B	日中一時	合計
男	4	27	18	49
女	1	15	9	25
合計	5	42	27	74

※就労移行の5名のうち3名はアセスメント実習

※日中一時の27名のうち5名は夏期長期休暇中の児童利用

(2) 年齢別統計 (単位:人)

	～19才	20～29才	30～39才	40～49才	50～59才	合計
就労移行支援	3	2	0	0	0	5
就労継続支援B型	3	5	14	15	5	42
日中一時支援	8	5	8	5	1	27
合計	14	12	22	20	6	74

(3) 開所日数及び利用状況

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月
開所日数(日)		22	21	22	23	20	21
利用延人数	就労移行(人)	65	35	43	46	39	43
	就労継続B(人)	824	810	854	901	755	806
	日中一時(人)	125	114	121	139	142	145
月		10月	11月	12月	1月	2月	3月
開所日数(日)		23	21	22	21	20	23
利用延人数	就労移行(人)	54	52	45	38	39	42
	就労継続B(人)	856	838	851	806	764	886
	日中一時(人)	183	181	181	174	155	183

(4) 前年度対比 (稼働率等)

項目	H30年度 (261日開所)			R元年度 (259日開所)		
	延利用者数 (人)	1日当たりの 利用者数(人)	稼働率 (%)	延利用者数 (人)	1日当たりの 利用者数(人)	稼働率 (%)
就労移行	979	3.7	61.7	541	2.0	33.3
就労継続	9,366	35.8	105.3	9,951	38.4	112.9
日中一時	1,464	5.6	56.0	1,843	7.1	71.0

(5) 就労移行支援の状況

年 度	就労者		就職先企業名
	就労移行	継続B	
平成30年度	2	0	(株)ケンブリッジ 小規模多機能ホームこもれば (株)ケンブリッジ グループホームひなた
令和元年度	0	0	
合計	2	0	

3. 給食

項目\月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
給食日数	19	19	20	22	17	17
延給食提供数	1,149	1,130	1,199	1,314	1,019	1,017
項目\月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
給食日数	21	20	19	19	18	21
延給食提供数	1,259	1,228	1,139	1,152	1,094	1,271

年間給食日数	232日	年間給食数	13,971食
--------	------	-------	---------

4. 施設事業関係

(1) 年間の主な事業・活動

令和元年 (平成31年)

月	日	内 容
4	1	辞令等交付式、入所式 (就労継続支援B型2名)
	12	<行事>お花見バスハイキング (上越市高田公園観桜会)
	25	工賃支給
5	16	税理士法人さくら総合会計事務所訪問監査
	17	利用者春季健康診断 (県労働衛生医学協会柏崎健診センター)
	22	特別養護老人ホーム柏柳の里交流事業
	24	工賃支給
6	25	保護者会定期総会
	3	はまなす特別支援学校高等部生徒現場実習受入 (~6/20まで)
	8	就職者定着の集い参加 (障害者就業・生活支援センター主催)
	10	新潟青陵大学現場実習生受入
	18~19	22:22 震度5弱の地震発生 (柏崎市は災害対策本部を設置する。) 被害状況の確認及び職員は自宅待機 県市への報告 23:45 自宅待機解除

	25	工賃支給
	26	特別養護老人ホーム柏柳の里交流事業
7	6	さくら総合会計事務所訪問監査
	17	総合防災訓練
	19	はまなす特別支援学校 PTA 視察
	22	新潟大学介護体験実習受入 (～7/27)
	24	特別養護老人ホーム柏柳の里交流事業
	25	工賃支給
	8	2
7		さざなみ学園見学受入
9		利用者夏季賞与支給
14～16		夏季休業
19		新潟青陵短期大学実習受入 (～8/30)
23		工賃支給
26		東北福祉大学現場実習受入 (～8/30)
28		特別養護老人ホーム柏柳の里交流事業
9	3	新潟青陵短期大学保育実習受入
	9	さくら総合会計事務所訪問監査
	12～13	<行事>利用者一泊旅行 (山梨県方面)
	17	外壁等修繕工事 (～11/30)
	24	障がい者就職面接会参加 (長岡市)
	25	工賃支給・特別養護老人ホーム柏柳の里交流事業
10	1	東北福祉大学社会福祉援助技術現場実習受入 (～10/22まで)
	7	はまなす特別支援学校高等部現場実習受入 (～10/24まで) 新潟青陵大学現場実習受入 (～10/25まで)
	23	特別養護老人ホーム柏柳の里交流事業
	25	工賃支給
11	7	就職面接会参加・インフルエンザ予防接種
	11	さくら総合会計事務所訪問監査
	16	就職者定着の集い参加
	18	新潟盲学校見学受入
	25	工賃支給
	27	総合防災訓練
12	2	職員健康診断 (～2/26)
	10	利用者冬季賞与支給
	14	保護者会研修会
	20	<行事>利用者忘年会 (メトロポリタン松島)
	25	工賃支給
	26	さくら総合会計事務所訪問監査
	29～31	年末休業

令和2年

1	1～3	年始休業
	24	工賃支給
2	13	障がい者就職面接会参加 (長岡市)

	25	工賃支給
3	4	さくら総合会計事務所訪問監査
	16	東北福祉大学体験実習受入(～3/18まで)
	25	工賃支給
	31	年度末一時金支給

- (2) 防災訓練
総合防災訓練(消防署通知)年2回、通常の訓練(総合防災訓練実施月以外)
- (3) クラブ活動
生花教室(月1回)、茶道教室(月1回)、ダンス教室(月1回)
- (4) 調理実習・創作活動(土曜開所日)
- (5) 新潟県知的障害者福祉協会関係会議
施設長会議(年2回)、上越地区研修会
- (6) 柏崎刈羽地域障害者自立支援協議会関係
ジョブガイダンス(B型、日中一時から計4名参加)
- (7) 計画相談に係るケア会議
随時、サービス管理責任者及び担当職員が出席
- (8) 各種施設内会議
職員・防災・給食会議(月1回、他随時)、支援員会議(月1回)、施設外作業会議(月1回)、
ケース会議(随時)
引継ぎ(毎日)
- (9) 中越圏域就労移行支援事業所連絡会議への出席

5. 就労支援事業

(1) 受託作業

官公庁・企業・事業所名	住 所	業 務 内 容
柏崎ユーエステック株式会社	柏崎市藤井 1350	成型部品の組立、梱包等
株式会社コロナ	柏崎市宝町 2-58	暖房機器部品加工
三喜商事株式会社	長岡市場町 7 2 2	商品梱包、紙器加工等
山崎工業株式会社	柏崎市安田田尻工業団地 7578 番	外観検査及び治具による検査
吉沢工業株式会社	出雲崎町大字小木 318-8	紙器組立加工等
株式会社アイエヌテック国上	柏崎市大字藤井 1407	成型部品の組立、並べ等
特別養護老人ホーム柏柳の里	柏崎市高柳町岡野町 2254-1	かしわハンズ販売委託
STKサイエンスを楽しむ会	柏崎市大字藤井 1407	ストラップ梱包・レーザー刻印
株式会社カシックス	柏崎市若葉町 2-22	マラソンパンフレット梱包等
柏崎信用金庫	柏崎市東本町 1-2-16	チラシ梱包

(2) 施設外就労受託企業

官公庁・企業・事業所名	住 所	受託期間
柏崎市(人事課)	柏崎市中央町 5-50	通年
特別養護老人ホームいこいの里	柏崎市大字佐水 3140	通年
柏崎市(クリーン推進課)	柏崎市松波 4-13-13	通年(リサイクルセンター)
柏崎地域振興局	柏崎市鏡町 11-9	〃
株式会社アイエヌテック国上	柏崎市大字藤井 1407	通年

田村農産	柏崎市大字藤井 1104	短期 (4月)
柏崎市 (柏崎港)	柏崎港観光交流センター	短期 (6月～7月)

(3) 職場実習受託企業

官公庁・企業・事業所名	住 所	受託期間等	備考(実習形態)
(福)柏崎刈羽福祉事業協会 特別養護老人ホームなごみ荘	柏崎市原町 4-23	令和元年 8月26日 ~ 令和元年 8月30日	施設外就労
株式会社コロナ	柏崎市宝町 2-58	令和2年 1月14日 ~ 令和2年 2月 6日	新潟県障害者職 場実習受入促進 事業

(4) 工賃向上計画と工賃支払い実績

ア. 工賃向上計画 (単位:円)

項 目	目 標		
	H29年度	H30年度	R元年度
工賃支払総額 (円)	6,720,000	8,064,000	8,316,000
平均工賃 (円)	14,000	16,000	16,500

イ. 実績 (単位:円)

項 目	H29年度	H30年度	R元年度
工賃支払総額	7,483,340	8,520,940	9,383,130
平均工賃	15,558	17,939	18,654
新潟県平均工賃	14,472	15,189	未発表

6. 苦情解決・事故防止・情報提供

(1) 事故報告 2件

- ・利用者他害行為による他利用者打撲 1件
⇒他害行為の原因を考察し、予防策を支援員で検討・周知
- ・利用者転倒による瘤 1件
⇒転倒の原因を考察し、予防策を支援員で検討・周知

(2) 苦情受付 0件、ヒヤリハット報告 0件

7. 視察来所者 (敬称略)

令和元年7月 県立はまなす特別支援学校 PTA
 令和元年8月 さざなみ学園 利用者、職員
 社会福祉法人 柏崎刈羽福祉事業協会
 令和元年11月 新潟県立新潟盲学校

8. ボランティア等

生花教室 講師 1名
 ダンス教室 講師 1名
 茶道教室 講師 3名
 創作活動 講師 1名

9. 保護者会関係

令和元年 5月25日 定期総会
 6月30日 第24回新潟県手をつなぐ育成会新潟大会参加

9月 8日 柏崎市手をつなぐ育成会 海岸清掃 参加
10月24日 第1回役員会
12月14日 保護者会研修会
令和2年 3月27日 第2回役員会
※ 施設への機関紙発行資金援助
※ 施設への備品贈呈 (屋外用傘立て)

障害福祉サービス事業（就労定着支援）
たいよう SOCIO センター 事業報告

1. 事業の目的

利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、就労に向けた支援として所定の障害福祉サービスを受けて通常の事業所に新たに雇用された障害者に対して、一定の期間にわたり、当該通常の事業所での就労の継続を図るために必要な当該通常の事業所の事業主、障害福祉サービス事業所等、医療機関その他の者との連絡調整、その他の支援を適切かつ効果的に行うことを目的とする。

2. 利用状況

(1) 月別利用状況（単位：人）

項目\月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
男	4	4	4	4	4	5
女	2	2	2	2	2	2
合計	6	6	6	6	6	7
項目\月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
男	5	4	4	3	3	3
女	2	2	2	2	2	2
合計	7	6	6	5	5	5

(2) 年齢別（単位：人）（令和2年3月31日現在）

～19才	20～29才	30～39才	40～49才	50～59才	合計
0	2	1	2	0	5

(3) 障害種別（単位：人）（令和2年3月31日現在）

知的障害	精神障害	身体障害	合計
5	0	0	5

(4) 就職先

企業・団体名	勤務地	人数	主な業務内容
株式会社クレアメディコ 多機能ケアセンターさわやか苑柏崎春日	柏崎市春日 1-2-51	1	清掃業務
株式会社ケンブリッジ 小規模多機能ホームこもれび グループホームひなた	柏崎市北条 2095-1	1	清掃業務
	柏崎市大字加納 5884	1	介護補助兼清掃業務
株式会社テック長沢	柏崎市藤井 1358-4	1	清掃業務
社会福祉法人柏崎刈羽ミニコロニー 松波の里 松風の里	柏崎市松波 4-8-18	1	清掃業務
	柏崎市松波 4-8-8	1	〃
社会福祉法人たいよう福祉会 柏崎市資源物リサイクルセンター（委託業務）	柏崎市松波 4-13-13 クリーンセンター内	1	資源物引取

社会福祉法人柏崎市社会福祉協議会 かしわハンズ	柏崎市宝町2-11	1	パン製造補助業務
----------------------------	-----------	---	----------

3. 施設事業関係

- (1) 第6期柏崎刈羽地域障害者自立支援協議会関係
就労定着支援プロジェクトへの参加 不定期開催 年3回程度
- (2) 中越圏域就労移行、定着支援事業所連絡調整会議
随時、サービス管理責任者又はサビ管に準ずる職員が出席
- (3) 計画相談に係るケア会議
随時、サービス管理責任者又は担当職員が出席
- (4) 各種施設内会議
就労移行支援、就労定着支援会議（月1回程度、他随時）

障害福祉サービス事業（共同生活援助 介護サービス包括型）
たひようホーム・あつとホーム 事業報告

1. 事業の目的

利用者個々の特性に合わせて、生活面での自立を目指し、地域において共同生活を行えるよう、利用者の身体及び精神状態並びにその置かれている環境に応じて、食事の提供、相談その他の日常生活の支援を適切に行う。

2. 生活住居（令和2年3月31日 現在）

事業所名	住 所	定 員	現 員
たひようホーム	柏崎市四谷2-4-3	男性6名	男性 5名
あつとホーム	柏崎市小倉町10-14	男性5名	男性 5名

3. 利用者の状況

(1) 年齢構成（令和2年3月31日現在）

年 齢	30～39	40～49	50～59	60～65	平均年齢（才）
人 数	1	5	2	2	49.1

(2) 障害の状況（令和2年3月31日現在）

障害支援区分	非該当	区分1	区分2	区分3	合計
人 数	0	1	4	5	10

(3) 利用状況（利用延人数）

月 別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	稼働率
営業日	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31		
たひようホーム	167	173	171	174	168	164	171	169	172	145	140	152	1,966	89.5
あつとホーム	125	118	125	129	116	119	118	124	121	123	115	131	1,464	80.0
合計（11名）	292	291	296	303	284	283	289	293	293	268	255	283	3,430	

※稼働率：年間営業日（366日）に対する利用率

4. 主な事業・活動

4月17日（水）	・バックアップ施設との連絡会議
5月22日（水）	・バックアップ施設との連絡会議
6月19日（水）	・バックアップ施設との連絡会議
27日（木）	・避難訓練
28日（金）	・新潟県知的障害者福祉協会グループホーム世話人研修会 世話人2名、バックアップ施設職員2名参加
7月17日（水）	・バックアップ施設との連絡会議
8月21日（水）	・バックアップ施設との連絡会議
28日（水）	・バックアップ施設との連絡会議
29日（木）	・消防設備点検 ・全国グループホーム研修会 千葉県
9月18日（水）	・バックアップ施設との連絡会議
10月16日（水）	・バックアップ施設との連絡会議
24日（木）	・避難訓練
31日（木）	・避難訓練
11月 5日（火）	・たひようホーム IP カメラ設置
7日（木）	・インフルエンザ予防接種

15日(金)	・ゆったり健診受診(2名)
29日(水)	・バックアップ施設との連絡会議
12月 2日(月)	・「障害者の地域での暮らしを考える」研修会参加
18日(水)	・バックアップ施設との連絡会議
令和2年	
1月15日(水)	・バックアップ施設との連絡会議 ・緊急ラジオ設置
20日(月)	・たいようホーム金子様退去
24日(金)	・たいようホーム居室壁紙修理
2月14日(金)	・消防設備点検
26日(水)	・バックアップ施設との連絡会議
3月16日(月)	・新型コロナ感染対応打合
18日(水)	・バックアップ施設との連絡会議

その他、余暇活動として、ご利用者の意見・意向をお聞きしながら、誕生会や外食、外出等を企画・実施する。

5. グループホーム連絡会議の開催及びケア会議への出席

連絡会議は、世話人やサービス管理責任者、生活支援員で構成。月1回定例会を開催し、個別支援計画の進捗状況の把握や世話人との情報共有を行いながら、利用者に適切な支援が行われるように努めてきた。計画相談が入っている利用者については、定期的なモニタリング会議に参加し、関係機関と情報共有、連携して支援することに努めた。

6. 地域とのつながり

ホームが設置されている地域の町内会・近隣住民との関わりを大切にし、ホーム運営に努めるとともに、災害等の緊急時に対応するため、ホーム利用者の要援護者登録を行い、緊急連絡体制を整備する。

相談支援事業

障がい児(者)生活支援センターふくし・ぱーとなー 事業報告

1. 事業の目的及び内容

相談支援事業の円滑な運営管理を図ると共に、利用者及び障がい児の保護者（以下「利用者等」という。）の意思及び人格を尊重し、利用者等の立場に立った適切な相談支援の提供を確保することを目的とする。

- (1) 柏崎市・刈羽村 障害者相談支援事業（地域生活支援事業・基本相談）
- (2) 特定相談支援事業
- (3) 障害児相談支援事業
- (4) 一般相談支援事業（地域移行支援・地域定着支援）

2. 障害者相談支援事業を受けた実件数

実人員：障がい者 31名 障がい児 14名

(1) 基本相談支援を利用している障がい別の延べ件数

	身体	重症心身	知的	精神	発達	高次脳機能	その他
障がい者	0	0	213	5	20	0	1
障がい児	0	0	69	0	0	0	0

(2) 基本相談支援の支援方法（受信） 230件

支援方法	件数	支援方法	件数
アウトリーチ	92	電話相談（夜間）	0
来所	32	電子メール	16
同行	8	個別支援会議	5
電話相談（日中）	72	その他	5

(3) 基本相談支援の支援方法（発信） 78件

支援方法	件数	支援方法	件数
アウトリーチ	7	電話相談（夜間）	0
来所	1	電子メール	1
同行	0	個別支援会議	0
電話相談（日中）	69	その他	0

(4) 基本相談支援の支援内容

支援内容	件数	支援内容	件数
福祉サービスの利用	225	家計・経済	0
障がい・病状の理解	14	生活技術	2
健康・医療	12	就労	17
不安解消・情緒安定	2	社会参加・余暇活動	0
保育・教育	3	権利擁護	0
家族関係・人間関係	12	その他	21

3. 特定相談支援事業・障害児相談支援事業を受けた実件数

実人員：障がい者 150名 障がい児 34名（児者の重複含む）

(1) 計画相談支援を利用している障がい別の延べ件数

	身体	重症心身	知的	精神	発達	高次脳機能	その他
障がい者	60	9	2481	105	22	0	0
障がい児	0	0	225	0	10	0	0

(2) 計画相談支援の支援方法 (受信) 2030 件

支援方法	件数	支援方法	件数
アウトリーチ	664	電話相談 (夜間)	2
来所	259	電子メール	79
同行	13	個別支援会議	538
電話相談 (日中)	318	その他	157

(3) 計画相談支援の支援方法 (発信) 882 件

支援方法	件数	支援方法	件数
アウトリーチ	38	電話相談 (夜間)	2
来所	5	電子メール	316
同行	0	個別支援会議	0
電話相談 (日中)	518	その他	3

(4) 計画相談支援の支援内容

支援内容	件数	支援内容	件数
福祉サービスの利用	2578	家計・経済	23
障がい・病状の理解	9	生活技術	1
健康・医療	72	就労	37
不安解消・情緒安定	48	社会参加・余暇活動	0
保育・教育	7	権利擁護	1
家族関係・人間関係	60	その他	76

4. 一般相談支援事業 (地域移行支援) を受けた実件数

実人員: 障がい者 0 名

5. 一般相談支援事業 (地域定着支援) を受けた実件数

実人員: 障がい者 13 名

(1) 地域定着支援を利用している障がい別の延べ件数

	身体	重症心身	知的	精神	発達	高次脳機能	その他
件数	75	0	341	30	0	0	0

(2) 地域定着支援の支援方法 (受信) 427 件

支援方法	件数	支援方法	件数
アウトリーチ	342	電話相談 (夜間)	0
来所	9	電子メール	0
同行	9	個別支援会議	4
電話相談 (日中)	61	その他	2

(3) 地域定着支援の支援方法 (発信) 19 件

支援方法	件数	支援方法	件数
アウトリーチ	4	電話相談 (夜間)	0
来所	0	電子メール	0
同行	0	個別支援会議	0
電話相談 (日中)	15	その他	0

(4) 計画相談支援の支援内容

支援内容	件数	支援内容	件数
福祉サービスの利用	197	家計・経済	7
障がい・病状の理解	3	生活技術	1
健康・医療	106	就労	0

不安解消・情緒安定	3	社会参加・余暇活動	0
保育・教育	0	権利擁護	2
家族関係・人間関係	5	その他	122

6. 柏崎刈羽地域障害者自立支援協議会への参加

- (1) サービス調整連絡会議 12回・・・村山
- (2) 地域づくり部会 7回・・・村山、堀
- (3) 就労部会 2回・・・眞貝
- (4) 相談支援連絡会 7回
- (5) 緊急時の受け入れに伴う課題分析プロジェクト3回・・・村山、堀
- (6) 就労定着支援事業に関する勉強会

7. その他

- (1) 中越圏域相談支援事業連絡会（長岡市） 4回
- (2) 中越圏域自立支援連絡会 地域移行支援部会 1回
- (3) ひきこもり支援連絡会 1回
- (4) 圏域別研修会 2回
- (5) 障がい者の就労を拓く会
- (6) みんなで暮らせる地域づくりフォーラム
- (7) 特別支援学校卒業後の障害福祉サービスの利用に係る最終調整会議
- (8) 柏崎市刈羽村障害者介護給付費等支給審査会委員・・・横田
- (9) 柏崎市障害者福祉推進会議 2回・・・村山

公益事業

柏崎市資源物リサイクルセンター管理に関する業務 事業報告

1. 事業の目的

この事業は、柏崎市より委託を受け、在宅の障害者を対象に、その業務を行うもの（登録者、支援スタッフ）を派遣し、地域における障害者の雇用対策の一環として継続的に就労自立支援を行う。

2. 事業の実施主体及びバックアップ施設

- (1) 事業実施主体 社会福祉法人たいよう福祉会
 (2) バックアップ施設 たいよう SOCIO センター

3. 業務内容

- (1) 施設と施設周辺の簡易清掃、除雪
 (2) 施設に持ち込みをする市民の接客
 (3) 資源物の整理・管理
 (4) 火災等の防止、不法投棄や建物破損等の事件・事故の委託者への通報

4. 職員の体制（令和元年3月31日現在）

- (1) 支援員スタッフ 11名（事務兼務 1名含む）
 (2) 登録者スタッフ 1名（障害者雇用）

5. 開所日及び開所時間

- (1) 年末年始を除く、週3日（水、土、日曜日）9：00～18：00
 (2) 年間開所日数 154日

6. 事業内容

(1) 来場者数（単位：人）

※「1日平均」は小数点以下を切り捨て

年 度	開所日数 (日)	来場者 (人)		1日 平均	備 考
		実績数	前年度比		
平成24年度	154	112,564	10,708 増	726	小型家電 13 品目の回収を追加
25 年度	154	122,899	10,335 増	798	小型家電の回収を 88 品目に変更 支援スタッフ 1 名の増員
26 年度	154	142,338	19,439 増	924	古着回収を追加（平成 26.7 月～）
27 年度	154	149,373	7,035 増	969	
28 年度	149	158,576	9,203 増	1,029	
29 年度	154	176,804	18,228 増	1,148	支援スタッフ 1 名の増員
30 年度	154	166,448	10,356 減	1,080	西本町資源物リサイクルセンター開設 （平成 30.9.5 開設 シルバー人材受託）
令和元年度	154	166,441	7 減	1,080	

(2) 担当課（市民生活部環境課）との連絡会議の開催

- 2019年 4月16日、6月18日、8月6日、11月5日
 2020年 2月18日、3月27日